

平成 19 年度 国際競争力永続的強化対策事業
「わが国機械貿易統計」のシステム改良等に係る委託先の公募について

平成 20 年 3 月 7 日
日本機械輸出組合
総務企画グループ

1. 目的

「わが国機械貿易統計データベース」を利用し、わが国機械産業の国際競争力分析、各企業の市場・販売戦略や機械需要予測など各種統計データを作成し、様々な形で利活用を行っているが、統計データを作成する際の「システムの操作性」、「更新処理作業」、「システムの基本作業」「データの信頼性構築」等において、非効率な作業や操作利便性が低い部分など、システム上の問題が発生している。そのため同システムのシステム設計を見直し、操作性、利便性、信頼性等の改善を行い、データベースの運用向上を図る。

2. 内容

(1)業務内容

以下の業務項目に従ってシステムの見直し、改善を行うこと。

(2)改善項目

1)操作性

・操作に不必要なロールアップ

「登録レポート修正・削除」画面において「項目」を選択し、作業終了後「終了」させると同画面で自動的に画面がロールアップされてしまうので、選択項目が最下にある場合などロールダウンする必要があり作業上非効率である。

・操作ボタンの欠落

「HS コード変更処理」画面では「登録」ボタンしかなく、処理を間違ってしまうと変更できなくなり、利便性に欠く。

・画面からの印刷作業

「組合統計品目分類」（輸出・入）（大分類から HS コードまで下層がわかる）を画面よりプリントアウトできず不便である。

・操作コマンドの不具合

「登録新規レポート修正・削除」の CSV ファイルのチェックボックスにチェックが入

力されていないと実行することができないため、CSV ファイルの作成が不必要な場合であっても作成せざるを得ず作業効率上、非効率である。

・「登録新規レポート修正・削除」画面上での「利用者」変更

「登録新規レポート修正・削除」の画面にある「利用者」に変更があった場合、同画面上で変更作業が行えるか検討する。

・貨物対象コード(大分類、中分類、小分類、HS コード)の操作不具合

「大」→「中」→「小」→「HS」の順で、下層コードに入っていく際、選択したコードの下層コードが表示されないことがある。カーソルを上下に移動させ、改めて行くと正しく表示されることから、一度で正しく表示されるようにする。

・バックアップシステムの確認及び見直し

不測の事態に備えるためにも統計データをバックアップする必要があるが、簡単な手順で DAT テープ（上書き可能）にバックアップできるようにする。

2) システム管理者基本作業

・HS コード改訂に伴う変更作業

HS コードの変更（振り分け、分割等）について HS コード上は変更が可能となりコード履歴が把握できる状況にあるが、実際のデータは変更（振分、分割等）されていないため、HS コードの変更作業を行ってもデータに同様の変更が反映されないためデータに信頼性がない。そのため「新規」、「廃止」、「変更」のコード変更を除いた「分割」、「統合」、「振分」の変更作業の処理を廃止する。

・作業手順の不具合

新年に HS コードの変更作業がある場合、前年の修正・確定作業（3月中旬公表）を完了してからでないと、新年分の HS コード変更作業と新年1月分（2月下旬公表）のデータ更新作業を実施することができず非効率である。

3) 出力帳票の見直し

・出力帳票の項目の設定の変更

運営委員会用資料「機械輸出入状況」の「全商品、機械類総額」中の「その他」に、現在、「全商品、機械類総額」中にある「中南米」のデータを合体させる。

(3) 国際貿易統計データ(韓国)作成

1) データベース用データ作成:

- ・ データベース用 HS6 桁貿易データの作成
- ・ データベース用 HS 最小桁貿易データの作成
- ・ データベース用 HS 最小桁マスターデータの作成

2) データベースに格納しない機械データ（武器類）については別テーブルを作成

3) データチェック

(イ) データ作成時に前年マスタとの比較を実施、不一致の場合は不連続フラグを付与する。

(イ) 作成したデータについては、納入する前に、計測可能な方法で報告データが過去と整合性のあるデータになっているかどうか毎回チェックする。

4) 作成データファイル一覧

下表のソースから報告国（韓国）について貿易データとマスタデータを作成する

| データソース | 報告国 | HS6 桁ソース | HS 最小桁ソース | HS6 桁マスタ | HS 最小桁マスタ | 国コードマスタ |
|--------|-----|----------|-----------|----------|-----------|---------|
| GTI | 韓国 | ○ | ○ | | ○ | |

上表は1回（1期分）のデータ作成で作成されるデータファイル一覧

5) データ作成対象期間

本データ作成作業は以下の期間について実施する

| | 年計 | 四半期 | | | |
|-------------|------|----------|----------|----------|----------|
| | 2007 | 2007. 1Q | 2007. 2Q | 2007. 3Q | 2007. 4Q |
| 韓国データ (GTI) | ● | ● | ● | ● | ● |

3. 審査基準

- ・ 申請者は本事業を遂行するために必要な知識やノウハウを有していること。
- ・ 提案内容（企画案）が本事業の目的と合致し、具体的な方法が明記されていること。
- ・ 提案内容は、調査目的を満たし、かつ、経済性に優れていること。
- ・ 実施体制、実施スケジュール、見積明細等が明確になっており、かつ、事業を効率的に実施できる体制にあること。

4. 委託契約の条件

- ・ 委託金額 : 上限 1,430,000 円（消費税含む）
- ・ 契約期間 : 契約締結日から平成 20 年 3 月 31 日まで
- ・ 提出物 : システム等改善については、役務の提供であり、提出物はなし。

国際貿易統計データ作成については、以下を提出すること。

- ・ 貿易データ（HS6 桁データ、HS 最小桁データ）
- ・ マスタデータ（HS 最小桁データ）

- ・ 報告書（納入データ一覧、件数一覧）
- ※・ データはタブ区切りテキストファイル形式で、CD-ROM（CDR）にて納入する。
- ・ ファイル名、ファイルレイアウトについては、データベースシステムのファイル設計書に準拠する

5. 応募資格

次の要件を全て満たす法人または個人とする。

- ・ 当該事業に関するノウハウと調査実績等を有し、かつ、事業の達成に必要な組織体制を有していること。
- ・ 当該事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、十分な管理能力を有していること。
- ・ 日本機械輸出組合が提示する委託契約書の内容に同意できること。

6. 公募期間

平成 20 年 3 月 7 日～3 月 12 日（期限内に必着のこと）

7. 応募方法

応募書類（応募書類・企画書）をダウンロード（WORD 形式は[こちら](#)、PDF 形式は[こちら](#)）し、必要事項をご記入の上、以下の添付資料とともに E メール又は郵送して下さい。応募内容についてヒアリングをさせて頂くことがあります。なお、受理した書類は返却できませんのでご了承下さい（提出された応募書類については、当組合の規定により個人情報及び機密の保持に十分配慮します）。提出された本書類の作成費用は支給されません。

（添付する資料）

企業あるいは個人概要、調査・研究実績、経歴等（HP に掲載されている場合は、同 HP の URL）

8. 審査結果

平成 20 年 3 月中旬（予定） HP で公表するとともに、応募者全員に通知します。

9・申請書類の提出先及び問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 401 号室

担当：総務企画グループ 金丸一也 グループリーダー山本哲三

E メール：kanemaru@jmcti.or.jp

TEL：03-3431-9379

FAX：03-3436-6455

以上